

# 東方学院松江校 講義案内

(受講料以外に年会費 ¥3,000が必要)

## 1 仏教思想概論

【全4回】／開催方法：Zoom

しも だ まさ ひろ  
下田 正 弘

武蔵野大学  
教授

東京大学  
名誉教授



受講料	会員料金：¥9,000	早割価格：¥8,000(納入期限：4月2日)
-----	-------------	------------------------

【日程・時間】【全4回】

~~4月9日(水)~~ 10:15~11:45 / 12:30~14:00

4月16日(水) 10:15~11:45 / 12:30~14:00

■受講に必要なもの

[テキスト]レジュメ配布

**第1日目は4月10日(木)の同時刻  
に変更されました**

本講義は、仏教思想の特質について、その概要を理解することを目的とする。講義は、原始（初期）仏教の思想の特徴の考察から出発し、仏教の基本教義を完成した部派仏教の思想、それに根幹から問題提起をした大乘仏教の空（中観）の思想、それら前史を踏まえて完成された唯識思想、さらに仏教思想の究極的形態である如来蔵・仏性思想までの展開を、順に辿ってゆく。

これによって、諸行無常、諸法無我、一切行苦、という思想の提示が、瞑想修行による煩惱の制御をめざす仏教の教理へと展開し、ついで、あらゆる存在の本性が空であり縁起であると説く大乘仏教の出現、さらにすべてを意識の所産であるとみる三界唯心という教説の完成、最後に、すべての衆生に仏の本性が存在することを宣言する仏性思想が現れてきたことの意義が、一連の歴史として理解されるだろう。

講義は、インド仏教の原典を解読し、その思想に直接触れる。初期仏教経典、部派仏教の論書、さらには大乘経典（阿弥陀経、法華経等）あるいは論書（中観、唯識、仏性・如来蔵思想関係等）のなかから、その思想の核心が窺える部分を、適宜抜粋して、和訳をしたテキストによって読んでゆく。

講義では、こうした仏教思想が、現代がかかえる諸問題——対立、環境破壊、暴力、戦争、激甚災害——の間に、どう向きあい、いかにはたらいてゆくかというテーマを、全体の底に流れる通奏低音としている。これによって、たんに歴史的な知識に留まらず、それが現実に発揮される力となることが確かめられるだろう。